

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

令和元年 12 月 26 日

審査機関名 ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	金属熱処理工場における高効率工業炉への更新による省エネルギー事業
承認番号	JCDM-PJKC1231
排出削減事業者名	株式会社共和熱処理
排出削減共同実施事業者名	株式会社ウェイストボックス
事業実施場所	株式会社共和熱処理 本社工場 (愛知県大府市梶田町一丁目 37 番地)
事業の概要	既存の LPG 工業炉 6 台を高効率な都市ガス工業炉 6 台(空気比制御システム導入 6 台・バーナー交換 4 台)に更新することにより、エネルギー使用量を削減して CO2 削減を図る。
排出削減量の計画	2011 年度 : 422 tCO2/年 2012 年度 : 562 tCO2/年 2013-2014 年度 : 555 tCO2/年 2015-2016 年度 : 557 tCO2/年 2017-2018 年度 : 555 tCO2/年 2019 年度 : 138 tCO2/年 (事業実施期間合計 4,456 tCO2)
認証期間	開始日 2011 年 7 月 1 日 終了予定日 2019 年 6 月 30 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2019 年 6 月 30 日となっている。

排出削減方法論	方法論番号 003 工業炉の更新
---------	------------------

2. 本実績確認の対象期間

2016年9月1日～2019年6月30日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	2,335 tCO ₂ （2016年9月1日～2019年6月30日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 生産データ記録（都市ガス使用量、処理量）及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 生産データ記録（都市ガス使用量、処理量）、及び事業者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 生産データ記録（都市ガス使用量、処理量）及び事業者へのヒアリングにより、エネルギー使用量及び処理量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 事業者へのヒアリング及び J-クレジット制度のモニタリン

	<p>グ・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.4により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果を生産データ記録（都市ガス使用量、処理量）と集計表との突合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は2016年9月1日から2019年6月30日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2019年6月30日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 783 kL、熱量換算 30,350.3GJであることを確認した。

以 上